

栃木県防犯設備協会の活動



栃木県防犯設備協会 会長 高柳 代造

1. 設立趣意

最近の治安情勢は、犯罪件数の上からみれば年々減少傾向にあり、住みよい社会へ向かいつつあるように見えますが、以前として残酷な事件は後を絶たず体感治安としては、まだまだという感があります。

このような情勢下において、住居の防犯診断、地域住民への防犯相談や防犯セミナーなど、防犯に関わる設備の専門家として防犯設備士（総合防犯設備士も含む）にできることは数多くあります。また、このような活動を通じて地域の防犯に貢献できるのが防犯設備士の使命でもあります。

そして「防犯性能の高い建物部品」をはじめとする優良な防犯機器及びシステムの更なる普及、「防犯優良マンション認定制度」や「防犯アドバイザー制度」施行への取り組み、毎年10月に行われる「全国地域安全運動」への協力など防犯機器及びシステムを通じて地域の防犯に貢献すべく、組織的な対応が必要と考えております。

以上のような考えのもと2007年7月20日に、県警本部及び県庁土整備部住宅課に赴き、発起人として趣意説明をおこなったところ、活動について全面的にご協力をいただけるとの御回答をいただきました。その後、警察、県庁、防犯協会連合会、その他関係機関の協力のもと、県内で活動している防犯設備士や防犯設備士を抱える企業・団体からなる「栃木県防犯設備協会」を立ち上げ、現在に至ります。これからも安全で安心なまちづくりのために大いに貢献して参りたいと存じます。

2. 主な事業内容

- (1) 防犯に関する情報収集、調査研究
- (2) 優良な防犯機器及び設備の普及促進に関わる活動
- (3) 防犯に関する情報交換及び団体等との相互連携強化
- (4) 栃木県が推進する防犯のまちづくりに対する参加協力
- (5) その他目的を達成するために必要な事業

3. 活動事例

2008年11月14日(金) 場所:パルティ とちぎ男女共同参画センター 304研修室

栃木県警察本部様による栃木県の最新犯罪状況について講義を拝聴しました。

・ 栃木県警察本部様による栃木県の最新犯罪状況について

栃木県警察本部 生活安全企画課の木村係長にお越しいただき、講義を拝聴しました。

県内の犯罪の認知件数は、平成14年がピークとなっており約4万件、現在は約3万件とだいたい10年前の水準程度まで回復しているとのことでした。ただ凶悪犯罪や振り込め詐欺の増加等犯罪の種類が変化してきていることです。その他にも、県内の市町村別や人口別の犯罪件数・内容の資料等をご説明いただきました。また携帯電話を使った防犯メールサービスの利用についてもご説明があり、貴重なお話をいたくことができました。

2009年9月開催 防犯設備士養成講習・資格認定試験

栃木県では初めての開催となりました。

栃木県会場 受験者数 55名、合格者数 50名 合格率90.9%

2010年6月26日（土）宇都宮オリオンスクエアにて

防犯相談、防犯診断コーナーを設置し防犯設備士による防犯診断を無料で実施



設立総会